



この挑戦が、未来となる。

ちゅうぎんフィナンシャルグループ



中国銀行



中銀証券

NEWS RELEASE

8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



令和7年10月15日

株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ

株式会社 中国銀行

中銀証券 株式会社

IPO 支援体制強化について

ちゅうぎんフィナンシャルグループ（岡山市 取締役社長 加藤 貞則）と子会社である株式会社中国銀行（岡山市 取締役頭取 加藤 貞則）および中銀証券株式会社（岡山市 取締役社長 加藤 裕通）では、IPO※支援体制強化に向け体制を整備しましたのでお知らせいたします。

※『IPO（Initial Public Offering）/新規公開株式』

未上場企業が新たに株式を証券取引所に上場し、一般の投資家がその株式を売買できるようにすること。資金調達力の向上に加え、企業の知名度やブランド力、社会的信用の向上が期待できる。

1. 背景・目的

当社グループでは「地域・お客さま・従業員と分かち合える豊かな未来を共創する」という経営理念のもと、地域経済の活性化や持続的な地域発展を重要な経営課題と位置づけ、地方創生に取り組んでいます。

2024年の岡山県の新規上場企業数は4社（東証グロース市場1社、TOKYO PRO Market市場3社）あり、特にTOKYO PRO Marketへの上場企業数は、東京都（22社）、大阪府（5社）に次ぐ全国第3位の水準です。当社グループにおいては、2022年に設立した株式会社ちゅうぎんキャピタルパートナーズ（岡山市 取締役社長 岡田 浩幸）によるスタートアップ企業等への直接投資等を活発に実施するなど、まさに地元企業の上場機運は高まっております。

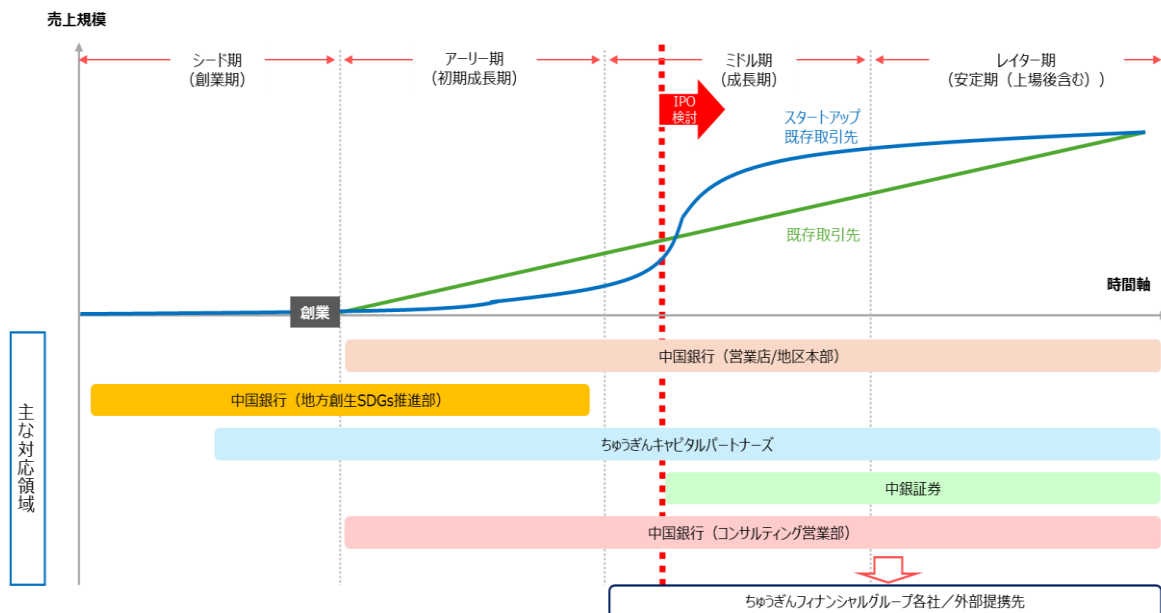
地元金融機関グループとしてIPOを目指す地元企業に対しちゅうぎんフィナンシャルグループの力を結集し強力に支援いたします。

東京証券取引所の市場構成

プライム市場	多くの機関投資家の投資対象になりうる規模の時価総額を持ち、より高いガバナンス水準を備え、投資家との建設的な対話を中心に据えて持続的な成長と中長期的な企業価値の向上にコミットする企業向けの市場
スタンダード市場	公開された市場における投資対象として一定の時価総額を持ち、上場企業としての基本的なガバナンス水準を備えつつ、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上にコミットする企業向けの市場
グロース市場	高い成長可能性を実現するための事業計画及びその進捗の適時・適切な開示が行われ一定の市場評価が得られる一方、事業実績の観点から相対的にリスクが高い企業向けの市場
TOKYO PRO Market	2008年の改正金融商品取引法により導入された「プロ向け市場制度」に基づき、設立された市場 株主数・流通株式・利益の額などの形式基準（数値基準）がなく、柔軟なガバナンス設計による上場も可能

※日本取引所グループHPより引用（一部加工）

2. FG グループの各ステージにおける支援領域



創業期（スタートアップ企業さま）から安定期（既存お取引先さま）まで当社グループで一気通貫して対応できる体制を整えております。IPO支援のみに留まらず、当社グループが一体となって、ステージに応じた売上拡大や人的資本投資、資本政策など企業価値向上に向けたご支援をさせていただきます。

3. IPO 支援の枠組み

中国銀行：成長戦略／資本政策の提案、IPOニーズの把握、中銀証券へのトスアップ
中銀証券：IPO支援窓口、IPO提案

